

大津市児童福祉施設
長寿命化計画
(母と子の家しらゆり)

令和6年3月

福祉部子ども未来局子ども家庭課

(1) 対象となる施設の概要

① 目的、機能・サービス

母と子の家しらゆりは、子育て支援の一環として母子世帯に提供する入居施設（母子生活支援施設）であり、平成 23 年度から指定管理者により運営しています。母子分離をしない唯一の社会的養護施設としてその機能を発揮することで、母子の生活と子育てを支援し母親の自立を支えることにより、児童の健全な成長を目的としています。

② 施設一覧

表 1 施設一覧（施設としての利用部分の延床面積）

施設分類	地域	施設名	配置形態	避難所指定	延床面積(㎡)
その他児童福祉施設	唐崎	母と子の家しらゆり	単独施設	無	1440.87

※母と子の家しらゆりは大規模災害時に必要に応じて妊産婦と新生児の避難施設として使用する。

③ 建物一覧

上記施設が代表施設となる建物の一覧は以下のとおりです。

表 2 建物一覧

代表施設名	建物名	建築年月日	延床面積	構造	階数(地下)	階数(地上)	耐震性能
母と子の家しらゆり	福祉施設棟	2000 年 4 月	1440.87	RC 造	0	3	OK

(2) 計画期間

本計画の計画期間は、大津市公共施設総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）の計画期間（2016 年度～2042 年度）終期と統一し、令和 5 年度から令和 24 年度までとします。

また、次世代育成支援計画に該当する大津市子ども・若者支援計画の基本施策の趣旨に則り、児童福祉施設として、入所者の安全で快適な生活環境を維持するため、計画的に整備を進めていくこととします。

本計画の見直しについては、今後の取組の実効性を高めるため、総合管理計画の見直しに合わせて、基本的には 5 年毎に取組結果を踏まえて実施することとし、図 1 に示す時期を目安として、適宜作業を行います。また必要に応じて随時見直しをします。

図 1 計画の見直し

			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24			
総合管理 計画	大津市公共施設総合管理計画 平成28年度～令和24年度																															
			見直し						見直し						見直し						見直し											
	平成28～令和3年度			令和4～8年度						令和9～13年度						令和14～18年度						令和19～24年度										
次世代育成 支援計画	大津市子ども・子育て 支援事業計画		大津市子ども・若者支援計画																													
	大津市次世代育成支援行動計画								次期策定						次期策定						次期策定						次期策定					
			令和2年度～6年度						令和7～11年度						令和12～16年度						令和17～21年度						令和22年度					
	大津市子ども・若者プラン																															
本計画						★策定					取組評価・見直し					取組評価・見直し					取組評価・見直し											

(3) 対策の優先順位の考え方

対策を実施する際に考慮すべき事項を以下のとおり設定します。

- ① 施設の役割・重要性またはサービスの位置づけ
- ② 施設の利用状況
- ③ 施設の劣化・損傷の状況等
- ④ 過去の整備状況

上記内容を総合的に勘案して対策の優先順位を定めるものとします。

(4) 個別施設の状況等

① 建物の整備状況

母と子の家しらゆりは新耐震基準で建築されており耐震性は確保されています。

② これまでの取組と今後の方向性

母と子の家しらゆりについては、社会的養護施策の一環として、児童の健全な育成において重要な役割を果たしており、代替する施設等がないことから、これまでも施設の安全確保と維持管理を実施してきました。今後も適切な修繕等維持管理を行いながらかつ計画的な設備更新、躯体修繕を進め、施設を活用していく方針です。

③ 収支状況

2020年度から2022年度までの収支状況は以下の表のとおりです。

表3 過去の収支状況（2020年度～2022年度）

（単位：千円）

年度			2020	2021	2022
内容					
支出	維持管理経費	光熱水費	0	0	0
		保守点検委託料	0	0	0
		維持管理業務委託料	155	39	19
		賃借料・共益費	0	0	0
		工事請負費	0	0	0
		修繕費	1,994	1,062	1,263
		その他維持管理経費	0	613	52
	運営経費	運営委託費	48,250	49,127	49,080
		人件費	0	0	0
		その他運営経費	165	98	146
収入	国・県支出金		13,358	12,900	10,384
	使用料		0	0	0
	その他収入		8,527	10,746	17,589

④ 施設の利用状況

過去３年間の施設利用状況は以下の表のとおりです。

表４ 利用率

(単位：％)

施設 \ 年度	2020	2021	2022
母と子の家しらゆり	60.6	65	60.6

⑤ 個別施設の状況（劣化・損傷の状況や要因等）

ア 建築基準法第 12 条に基づく点検結果

建築基準法第 12 条に基づく定期点検結果は以下の表のとおりです。

表５－１ 建築基準法第 12 条点検結果まとめ

(単位：件)

施設名	建築基準法第 12 条点検結果のうち 維持管理・安全上に支障がある劣化等の件数								
	2020 年度			2021 年度			2022 年度		
	建築	電気設備	機械設備	建築	電気設備	機械設備	建築	電気設備	機械設備
母と子の家しらゆり	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 劣化状況調査の結果

施設の劣化状況調査の結果は以下の表のとおりです。

表５－２ 劣化状況調査結果まとめ（2019 年度時点）

施設名	建物名	劣化状況調査結果				
		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備
母と子の家しらゆり	福祉施設棟	B	B	A	A	A

凡例（文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月）準用）

目視による評価基準【対象項目：屋根・屋上、外壁】

評価	劣化状況
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

経過年数による評価基準【対象項目：内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	劣化状況
A	20 年未満
B	20～40 年
C	40 年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

(5) 対策内容と実施時期及び概算費用

対策内容及び実施時期及び概算費用は表 6 に記載のとおりです。

凡例	2022	←実施時期
	1,234 既存改修 (40 年目)	←概算費用 ←対策内容

表6 対策内容及び実施時期																				(金額単位：千円)						
代表 施設名	建物名	建築 年月日	延床面積 (㎡)	目標 使用 年数	構造	階数 (地 下)	階数 (地 上)	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042
母と子 の家し らゆり	福祉施 設棟	2000年 4 月	1440.87	80	RC 造	0	3	36,938 外壁改修																243,766 既存改修 (40 年目)		

※総合管理計画における修繕・更新シミュレーションの結果を基に、修繕・更新時期の目安として記載しています。

※2024 年度は現時点予定している内容です。